

INPIT グローバル知財戦略フォーラム2015

# グローバルな事業活動に貢献するIBM知財戦略

January 26, 2015

**International Business Machines**  
**Senior Counsel, Intellectual Property Law**  
**Takeshi Ueno (上野剛史)**



# IBMの歴史

**創立** 1911年 世界170カ国以上で事業展開



# IBMのビジネス戦略

“今まさに次の変化が起こっている:

**データ**とその分析により、競争優位性が作り出され、

**クラウド**により、ビジネスモデルが形作られ、

モバイル・ソーシャルの技術を原動力として、個々人との**エンゲージメント(関わり)**が深められる。

従って、IBMは、顧客、産業、会社のための新しい将来を築こうとしている。これから述べるようなやり方で。”

(IBM Annual Report 2013)

- ネットワーク接続した1兆個のデジタルデバイス(2015年)
- 新しいソフトウェアの85%がクラウド向けに作成
- 新世紀世代の84%が、ソーシャル・ユーザ情報が購買行動に影響を与える、と回答

## CAMSS

- Cloud, AnalYTics, Mobile, Social, Security

# 全世界に広がるIBM基礎研究所



● IBM基礎研究所

## IBM、2014年米国特許取得数の記録更新 年間7,000件を超える特許を取得するはじめての企業 米国特許取得数22年間連続1位

[米国ニューヨーク州アーモンク - 2015年1月12日(現地時間)発]

IBM(NYSE:IBM)は、本日(現地時間)、2014年に取得した米国特許が7,534件となり、米国特許取得数は22年連続で第1位となりました。

2014年、IBMの発明者は1日平均20件以上の特許を取得し、これにより年間特許取得数がはじめて7,000件を上回りました。

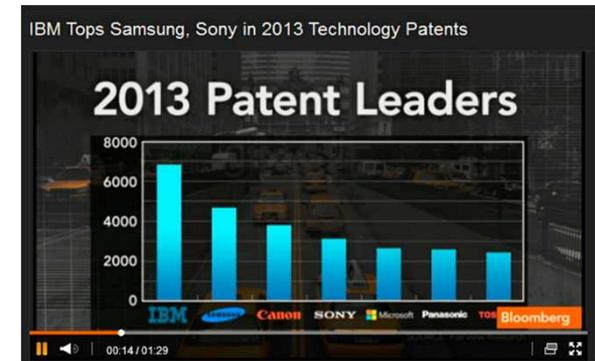
IBM会長、社長兼CEOである、バージニア・ロメッティは、つぎのように述べています。「クラウド、ビッグ・データ&アナリティクス、セキュリティ、ソーシャル、モバイルによって代表される新たな機会をつかむことを目指す中、IBMが継続する研究開発への投資は、弊社の改革を推進するための鍵です。IBMの20年以上にわたる特許取得数におけるリーダーシップは、基礎研究開発への永続的なコミットメントを示すものであり、お客様と世界が直面する最も困難な課題を解決します。」

2014年の特許取得数記録更新は、3,000件以上、全体の40%にのぼるクラウド・コンピューティング、アナリティクス、モバイル、ソーシャル、セキュリティ分野における発明によって推進されました。過去5年間、IBMはこれらの戦略的成長分野において年間取得数が2倍以上に増加し、この期間のクラウド、アナリティクス、モバイル、ソーシャル、セキュリティ分野の特許取得者としてリーダーとなっています。

またIBMの発明者たちは、新しいWatson関連のコグニティブ・テクノロジーなどのコグニティブ・システムの分野を先導する発明において500件以上の特許を取得しました。

# IBMの知的財産における主導的地位

- 22年連続米国特許取得No.1
- 年約10億ドルのIP収入
- 世界で最も価値あるブランドの一つ
- 世界中の知財施策に対する影響力
- 世界に広がる、最高水準の技術・知財のコミュニティ
- 年約60億ドルのR&D投資



Twitter、IBMから900件の特許を購入  
Jan 31, 2014



# IBMのビジネス戦略と知財戦略

イノベーションとインテグレーション  
を顧客に届ける

高付加価値ソリューションとオープン  
テクノロジーに経営資源を集中

世界に冠たるグローバル統合企業  
(GIE: Globally Integrated Enterprise)

## IBMにおける知財の重点項目

- 事業活動の自由
- 知財における主導的地位
- 知財収入
- オープンイノベーション・オープンソース
- 技術標準

## IBMにおける知財活動

- 世界中にライセンス
- 米国特許No.1
- 新たなIPマーケット
- 業界のリーダー
- 顧客との深い関わり

